

(一財)全国地域情報化推進協会 御中				報告日	2022年2月17日
				派遣決定番号	
地域情報化アドバイザー制度活用報告書 (3日目)					
地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。					
記					
1. 申請団体情報					
1-1. 申請団体					
団体名	京都市			代表者名	門川 大作
担当者部署	総合企画局			連絡先電話番号	075-222-3216
担当者役職	係員	担当者氏名	大塚 雄登	連絡先E-mail	
住所	604-8571 京都府京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地				
2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望 支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。					
アドバイザー	下山 紗代子				
評価	大変よい				
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	今回のフォローアップ支援では、研修終了後のサポート的なアドバイスや当市からの質問への回答に留まらず、本市のさらなるEBPM推進のための有益な情報について、具体的かつ詳細に御提示いただき大変参考になった。				
アドバイザーへの要望事項	特になし				
3. 地域情報化アドバイザー派遣実績					
	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2022年2月15日	15時00分	16時00分		60
3-2. 派遣場所	会場名	オンライン会議		最寄駅	未定
	所在地	未定		最寄駅からの交通手段	未定
	派遣形態	フォローアップ(オンライン)			
4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可					
掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可				
5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果					
5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】			人数	
	京都市職員			4人	
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果					
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	研修で醸成したEBPM推進の機運を今後どのように高めていくべきか。また、統計主管課として庁内のデータの利活用を今後どのように後押ししていくべきか。				
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	EBPM推進の機運の更なる醸成及び庁内のデータ利活用促進のためへの手がかりとなるアイデア・手法の取得。				
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	今後のEBPM推進のために各職員が各々の強み・弱みとなるスキルを把握できるようにスキル指標を設けること並びにターゲット層を絞ってレベル別の研修の開催の提案。加えて、参考資料として東京都デジタル人材確保・育成基本方針や費用負担なしで受講が可能な研修の案内をいただいた。また、データ利活用の推進にあたって、各課に対してどのような働きかけを行っていくべきかに関して、環境省データマネジメントポリシーや政府CIOポータル掲載の標準ガイドラインを提示の上助言をいただいた。				
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	EBPM並びにデータ利活用の推進における今後の展開について、手がかりとなるアイデア・手法を多数ご教示いただき、行うべき取り組みの方向性が明瞭となった。				
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。			<input type="radio"/> 途中段階であり、具体的な成果物はできていない	

改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし。
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい ④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	すべての職員がEBPMの視点を持ち、政策の立案から実施、実施後の効果の判断、そして取組全体の評価に至るまで、データを効率的に活用できるようになること。

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

